

◎「教育フォーラム2022」の開催報告について

1 開催趣旨

新たな横須賀市教育振興基本計画を周知し、横須賀の目指す教育の姿「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き」と誇れる人づくりについて、さまざまな世代や立場の人が意見交換を行い、学校・家庭・地域で共有する。

2 日時・場所 令和4年7月2日（土）9時30分～12時 総合福祉会館5階ホール

3 参加者 計89名（参加者66名・見学者23名）

区分	内訳	人数
参加者	ファシリテーター（学識経験者）	1名
	ラウンドテーブル（教員2、保護者1、学校関係者2）	5名
	中学生（ジュニアリーダー）	3名
	高校生（横須賀総合高校4、三浦学苑高校8）	12名
	大学生（関東学院大学法学部・牧瀬ゼミ）	20名
	保護者（小中学生4名、未就学児9名）	13名
	教員（指導主事9、三浦半島地区教職員組合1、三浦学苑高校2）	12名
見学者	市議会議員3、教育委員4、未就学児関係2、広報課1、事務局13	23名

4 開催内容

事務局による概要説明の後、ファシリテーター（関東学院大学法学部准教授・牧瀬 稔氏）の進行により以下のとおり実施した。

【第1部】ワールドカフェ形式の意見交換（9時30分～11時）

- テーマ
 - ・第1ラウンド「横須賀の好きなところをあげてみよう、話してみよう」
 - ・第2ラウンド「その横須賀を一緒につくる「あなた」との関わり」
 - ・第3ラウンド「自分自身「私」はどうありたい？」
 - ・第4ラウンド「振り返りーそんな人づくりのためにできることは？」

○総括1 テーブルホスト担当の大学生による「まとめの言葉」（テーブル①～⑪）

- ①「好き」について発信し合うことが重要
- ②まずは自分が好きになることが大切
- ③優しさが溢れる街横須賀
- ④地元トークに花が咲くアットホームな横須賀
- ⑤地元愛にあふれる落ち着いた横須賀
- ⑥横須賀の魅力を再発見することができた
- ⑦横にも縦にも後世にもつながりを持てる地域に
- ⑧老若男女みんな違ってみんないい

- ⑨魅力の共有と再発見愛しの横須賀
- ⑩もっと知ろう、もっとつくろう横須賀
- ⑪横須賀の良さを次の世代に向けて引き継ぐ

- 総括2 ファシリテーターによるワールドカフェ全体の総括
- ・今回のワールドカフェの意義は「協働」であると感じた。
 - ・「協」の文字は「力を3つ足す」とも定義できる。「あなた」「わたし」「横須賀」という3つの力を足すことが重要である。このような協働空間、協働時間を作ることが横須賀をもっと強くすると思う。

[第2部] ラウンドテーブル形式の討論・意見交換 (11時10分～12時)

- 討論者
- ・伊藤大郎氏 (市内養護学校の学校運営協議会会長)
 - ・梅谷尚子氏 (横須賀市立小学校校長会 副会長)
 - ・吉田和市氏 (三浦学苑高等学校 校長)
 - ・櫻井 聡氏 (横須賀市PTA協議会会長)
 - ・徳梅博美氏 (市立小学校ふれあい相談員)
- テーマ
- ・私たちが考える、目指す姿のイメージ
 - ・目指す姿の実現のために、私たちができること・すべきこと

○討論者の主な発言

伊藤氏	<ul style="list-style-type: none"> ・違う立場の方は同じテーマについて話し合うことが大切。 ・教育振興基本計画の方針にもある「自立」とは、適正な依存環境を作り上げることであると理解してほしい。
梅谷氏	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のまちが本当に好きな子どもたちに育ててほしい。 ・小学生に教える立場で大切なキーワードは「人が好きであること」 ・自分を受け入れて、人を好きになることが誇りにつながると思う
吉田氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ワールドカフェで出た「横須賀は一色ではない」「まずは行動してみよう」という言葉に大変共感した。 ・知る、参加する、発信することを改めて意識し、広げることが大切。
櫻井氏	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの自己肯定感を高めるには、自分の発言を受け止めてもらえる成功体験を増やしていくことが必要。 ・PTAでは、地域に出て子供を通して成長することが多い。その繰り返し人づくりになると思う。
徳梅氏	<ul style="list-style-type: none"> ・相談で話を聞くと「人と関わるのが面倒」と言う小学生がいる。 ・人との関わりなしには生きられず、自分と相手の価値を認め、お互いを大切にすることを大人がまず示していきたい。 ・相手を大切にすることは感情ではなく意思であると思う。

- 参加者との意見交換 (主なテーマ)
- ・誰もが平等に教育を受けられる環境
 - ・横須賀の改善点について
 - ・マスク外しの動きについて
 - ・デジタル化への対応について

5 参加者の感想・意見等（Google formによるウェブ回答、7月6日時点）

○回答者 39名（参加者37名、見学者2名）

○区分 中学生3名、高校生6名、大学生16名、保護者5名、教員8名、その他1名

○感想 A とても良かった 26名（66.7%）

B 良かった 11名（28.2%）

C あまり良くなかった 2名（5.1%）

区分	中学生	高校生	大学生	保護者	教員	その他	計
A	3	6	11		6		26
B			4	4	2	1	11
C			1	1			2
計	3	6	16	5	8	1	39

○自由コメント（主なもの）

- ・さまざまな年代や立場の人と意見交換できる貴重な機会だった。（18名）
- ・自分とは違う意見や考えを聞くことができた。（8名）
- ・横須賀の魅力を再発見・再認識できた。（5名）
- ・自分の考えや意見を発言・発信できてよかった。（4名）
- ・テーブルホストの大学生の対応や動きがよかった。（3名）
- ・各ラウンドのテーマ、議論の内容、進行が理解されていない部分があった。（3名）

